

パリ五輪目指す ナショナルチーム2人の本音

新連載①

久留米競輪×日刊スポーツ
NIKKAN SPORTS

ガールズケイリン特集

GI第2回オールガールズクラシック

2024.4/26(金)27(土)28(日) 電話投票 83#

久留米競輪場を舞台に来年4月26、27、28日の3日間、GI第2回「オールガールズクラシック」が開催される。ガールズケイリンは12年の創設以降、多くのファンの支持を受けて盛り上がりを見せている。このPDF新聞でも5回連載する。第1回は、自転車競技ナショナルチームに所属する佐藤水菜(24)と神奈川)太田りゆ(29)と埼玉)の2人に、選手を目指すきっかけや競技との両立の苦悩など、本音を語ってもらった。

水菜



りゆ

◆オールガールズクラシック 22年6月にガールズケイリン10周年記念として平塚で開催されたオールガールズをGI化。「最も格式の高いレース」として、3日制6レースのトーナメントで今年10月に松戸で第1回が行われた。初代女王は完全Vの佐藤水菜だった。

♥ガールズ選手特集(全5回)♥ 配信スケジュール

- 第1回 11/28(火)夜～ FI 楽天Kドリームス杯×HPCJC
- 第2回 12/10(日)夜～ FICTC杯×HPCJC
- 第3回 12/30(土)夜～ FIIチャリロト杯
- 第4回 1/25(木)夜～ FI 戸上守杯×HPCJC
- 第5回 2/24(日)夜～ FI 楽天Kドリームス杯×HPCJC

佐藤水菜 プレッシャーを力に



10月の第1回オールガールズクラシックを制した佐藤水菜

昨年の覇者

高校時代から自転車競技の実業団チームで練習していた経緯もあり、ガールズケイリン選手を目指すのは自然の流れだった。

佐藤水菜(以下佐藤) 頑張れば頑張る分だけ、自分に資金として返ってくる。数字で出るのはいくらいいいなと、やりがいがありますよね。

デビューしてすぐに頭角を現した。19年にガールズグランプリ(GP)に初出場すると、20年に転機が訪れた。活躍が認められ、ナショナルチーム加入を表明した。だが、取り巻く環境が一変したことで、思わぬプレッシャーに苦しんだ。

取り巻く環境が一変

佐藤 入った当初は力がついていないのに、ナショナルチームという肩書で期待度が一気に上がってしまった。それに応えなければいけないと一生懸命にやっていたけど…。(ガールズケイリンと自転車競技の)違う状況をうまく両立していかなきゃいけない、プラスアルファ、期待の声があったので、気持ちの面での苦労は多かった。

競技との両立苦悩

佐藤 プレッシャーを、うまく力にできるようにした。応援していただけてうれいしと、素直に受け止めることができた。押しも押されぬ勢いのあるパリ五輪を迎える。

佐藤 まずは無事に自分の調子を崩さず、けがなく迎えることが一番です。ガールズケイリン代表として世界に挑む「サトミナ」が新たな歴史を切り開く。

太田りゆ 1歩踏み出す勇気を



「1歩を踏み出す勇気を持って」と未経験者「エールを送る太田りゆ

W杯ケイリン銀

生まれ、埼玉県上尾市出身。適性試験で合格し、競輪学校ドカップのケイリン銀、23年(現選手養成所)112期生アジア大会スプリント銅。1994年(平6)8月17日として17年7月に高松でデビュー。65歳、65歳。血液型B。

1度諦めた

東京女体大在学中の15年に、自転車競技未経験者を対象にした「ガールズサマーキャンプ」に参加したことが、人生を変えた。

太田りゆ(以下太田) 幼少期から陸上競技を頑張っていたけど、陸上でプロになるとか五輪に出るのは正直、無理だなと思っていました。でも、何かしら体を動かすことで食べていければいいなと思っていました。

思い立ったら即行動。大学を休学して適性試験を受けると競輪学校(現競輪選手養成所)に一発合格する。太田 大学に自費で通ってバイトもして、お金を稼

思い立ったら即行動

太田 21年東京五輪が終わった後に、パリを目指す

絶対に強くなるという気持ち

太田 そのようなイベントに参加して、子どもたちと、少なからず自分に可能性を感じているはず。1歩を踏み出す勇気をしっかりと持ってほしい。

現在はナショナルチームの拠点がある静岡・伊豆で、トレーニングに励む日々を送る。自らの経験を生かすことが、自転車未経験者からのガールズ選手発掘の一助にもなっている。

